

令和6年能登半島地震に対する佐賀県社会福祉協議会の支援について

●本会では、令和6年1月1日に発生した、能登半島地震により、大きな被害を受けた石川県珠洲市(すずし)の災害ボランティアセンター(以下、災害VC)の運営支援のため、4月8日から4月14日の間、職員を派遣しました。

この派遣は、各県の社会福祉協議会のネットワークによるもので、全国社会福祉協議会の調整により、ブロックごとに支援に入ります。

派遣した職員は、珠洲市社協が被災者支援活動のために設置した災害VCで、被災された地域住民への支援の受付や調査、ボランティアの受付やマッチング等の運営支援にあたります。佐賀県からは、本会職員をはじめ、県内市町社協から協力をいただき継続的に支援していきます。

クール	派遣期間	派遣人数	派遣先
第1クール	4月8日(月)～4月14日(日)	2名	珠洲市社協
第4クール	4月20日(土)～4月26日(金)	2名	
第7クール	5月2日(木)～5月8日(水)	3名	
第10クール	5月14日(火)～5月20日(月)	3名	
第15クール	6月3日(月)～6月9日(日)	3名	
第18クール	6月15日(土)～6月21日(金)	3名	
第21クール	6月27日(木)～7月3日(水)	3名	



[出発式にて派遣にあたり決意表明する職員]

●佐賀県災害派遣福祉チーム(佐賀DCAT)では、災害福祉支援ネットワーク中央センターからの派遣要請を受け、3月1日～12日まで、佐賀DCATメンバーを3チーム、石川県へ派遣しました(1クールのチーム4名程度でそれぞれ4日間活動)。

今回派遣の主な活動内容は、石川県の調整本部に入り、同県輪島市や志賀町の地域リーダーミーティングへの参加や、珠洲市、志賀町の避難所等の現地視察を行いました。さらに珠洲市等に派遣されている他県のチーム員とオンライン会議を行い、アセスメントの加速化や見える化に向けた報告様式見直し等の協議に加え、避難所マップ作成や、本部職員への報告・情報共有を行いました。

今回の派遣では、現場で活動している他県チームへの後方支援等が主でしたが、被災された方々への寄り添う思いを何より大事にして活動しました。

本会では引き続き、派遣に備えて事前準備や調整に尽力し、支援を必要とする一人ひとりの被災者に対して、より質の高い支援ができるよう取り組んでまいります。



[石川県調整本部での打合せの様子]

福祉・介護・保育の資格取得を応援する貸付制度を実施しています

本会では、介護福祉士や社会福祉士、保育士の資格を大学・短大・専門学校等で取得するための費用として、介護福祉士修学資金等貸付と保育士修学資金貸付を実施しています。この事業は原則貸付けのため返還が伴いますが、卒業後、一定期間（3～5年）県内の対象施設等で従事された場合返還が全額免除となります。

介護福祉士修学資金等貸付事業では、本会で事業開始した平成21年度から令和5年度まで累計659名に貸付決定し、うち472名が資格取得（令和5年度127名在学）され、令和5年度には59名が介護福祉事業所等に就職されています。また、保育士修学資金貸付事業では、平成28年度の事業開始から763名に貸付決定し、うち521名が資格取得（令和5年度179名在学）し、84名が令和5年度に保育所等へ就職されました。各貸付事業の詳しい内容については、本会ホームページの「貸付制度」のページをご覧ください。

本会ホームページ「貸付制度」のQRコード



令和6年度 福祉従事者研修計画（6～8月分）

	研修名	開催方法	期日	予定会場
I 課題別研修				
1	相談したくなる職員を目指す相談スキル向上研修	②オンライン併用型	令和6年 6月13日(木)	県社協
2	福祉事業所における感染対策力強化研修	②オンライン併用型	令和6年 6月26日(水)	県社協
3	BCP(業務継続計画)研修	②オンライン併用型	令和6年 7月2日(火)	県社協
4	発達障がいへの理解と対応研修(基礎編、応用編・事例検討) 《2日間》	②オンライン併用型	令和6年 7月11日(木)・12日(金)	県社協
5	説明力向上研修 ～部下・後輩のやる気の引き出し方～	①オンラインのみ	令和6年 7月23日(火)	-
6	ストレスマネジメント研修	②オンライン併用型	令和6年 8月6日(火)	県社協
7	(新) 部下・後輩のほめ方・叱り方研修(仮)	①オンラインのみ	令和6年 8月19日(月)	-
8	(新) 支援につなげる記録の書き方研修	②オンライン併用型	令和6年 8月30日(金)	県社協
II 階層別研修				
1	中堅職員研修	②オンライン併用型	令和6年 6月19日(水)	県社協
III 資格取得サポート研修【介護支援専門員実務研修受講試験 受験対策講座】				
1	<模擬試験・解答解説講座>	③集合型	令和6年 8月31日(土)	県社協
※上記については当初計画案ですので日程が変更になる場合があります。				
※ 開催方法としては、①ZOOMを使用した「オンライン開催」、②オンライン・会場どちらでも受講ができる「併用型」、③会場でのみ受講ができる「集合型」になります。				
※ オンラインでの研修受講については、オンライン会議用ツール「ZOOM」を使用し、会場に集まることなくパソコン等を通じて研修を行います。参加者同士のグループワークによる意見交換等も可能となっています。				

社会福祉法人
佐賀県共同募金会

令和6年度「配分決定通知書交付式」を開催しました

(福)佐賀県共同募金会では、4月24日(水)に令和6年度配分決定通知書交付式を開催しました。当交付式は、配分決定した県内民間社会福祉施設・団体・社会福祉協議会等に対し、配分決定通知書の交付を行うために毎年開催しています。

今年度の配分方針については、現在の社会・生活課題に対応し、分かりやすいものとなるよう、市町の地域福祉事業に重点的に配分を行いました。具体的には地域の居場所・交流の場づくりを実施する団体へ助成を行う事業や地域住民の方々が安心・安全に暮らせるまちづくり事業等に配分しました。佐賀県共同募金会では、今後も配分を受ける方々へ、配分の財源がご寄付いただいた方々の「佐賀の福祉事業を支援したい」という思いが込められた浄財であることを伝えながら、「たすけ合い、支え合う心」を大切に赤い羽根共同募金運動に取り組めます。



【交付式の様子】

公益財団法人
佐賀県地域福祉振興基金

令和6年度「助成事業決定交付式」を開催しました

(公財)佐賀県地域福祉振興基金では、4月9日(火)に助成事業決定交付式を開催し、7団体に対し、本年度の助成決定通知書の交付を行いました。本基金は、子ども、障がい者、高齢者をはじめとした幅広い県民の福祉課題を解決するための事業に対し助成を行っていますが、その中でも特に、顕在化しにくい福祉課題を発見し、その解決を図るための先駆的かつ独自性の高い取り組みに対しては、積極的な助成を行うこととしています。今年度は、①介護施設等への入居を必要としている高齢透析患者が介護施設等の理解を得ることができず施設入所ができないという課題を解決するため、介護施設等職員に対し要介護高齢透析患者についての理解促進を図る研修の実施やハンドブックの作成、②障がい者の「暮らし」に着目し、障がい当事者やそのご家族等に子育て、親亡き後の財産管理について学んでいただく研修事業等に対し、助成を行います。今後も当基金では、高齢者や障がい者、次代を担う子どもたち、子育てに取り組む親など誰もが「佐賀に住んでいて良かった」と実感できる地域福祉活動に取り組む団体を、助成というカタチで積極的に支援していきます。

Fukku(フック)大・中研修室、会議室のご利用について(ご案内)

○大研修室(最大100名)・・・	利用料(税込)	1日 34,000円/半日 17,000円
○中研修室(最大50名)・・・	〃	1日 19,800円/半日 9,900円
○会議室(最大30名)・・・	〃	1日 10,800円/半日 5,400円

※別途マイク・プロジェクター等は利用料がかかります。

本会ホームページより空き状況の確認、仮予約(ご利用日の120日前から)ができます。

☆今号へのご感想ありましたら、本会ホームページ内の「お問い合わせ(<http://www.sagaken-shakyo.or.jp/contact.html>)よりお知らせください。

社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会 総務企画課
〒840-0815 佐賀市天神一丁目4番15号 TEL0952-23-2145

スライド 3

s1 shakyo33, 2024/06/05